

◇ 学生一人一人が納得した進路に進めるように、石巻専修大学では就職支援やキャリアサポートに力を入れている。学生が自らライフプランを考え、自信を持って就職活動に臨むことができるように、入学直後からキャリア支援教育や進路ガイダンスを実施。経験豊富なスタッフが個別面談に応じ、夢の実現を後押しする。2019年3月に卒業した学生の進路状況、特徴的な就職支援プログラム、就職活動に取り組む4年次生の声を紹介する。

19年3月卒業生就職決定率

高水準保ち98.8%

人間学部 3年連続100%

19年3月卒業の就職希望者に対する就職決定率は98.8%(前年度比0.8増減)で、8年ぶりの減少となったが高水準を保った。企業の採用意欲が高まるなか、学生たちの健闘が実った結果となった。

学部別では、人間学部が3年連続で100%を達成した。学科別では、人間学部の2学科(人間文化、人間教育)に加え、理工学部の食環境学科、情報電子工学科が100%だった。

業種別では卸売・小売業が27.4%(同0.2増減)で最も割合が高かった。学科別でみると、

就職先を地域別でみると北海道・東北が59.8%(同2.3増減)。県別では宮城県が37.7%(同増減なし)で最も高かった。また、就職決定者のうち、出身地に就職した学生は44.8%(同0.4増減)。地元・宮城県出身学生の県内就職率は48.4%(同0.4増減)だった。

豊富な支援プログラム



女子学生限定ガイダンスで自己紹介を練習＝2月12日

女子学生限定ガイダンスも

就職活動に向けた悩みは学生それぞれ。本学では「学生に寄り添うサポート」を旨とし、年間50回以上の支援プログラムの中も見せてもらい、就職活動に合わせたサポートが受けられる。

フによる個別相談など学生をサポートしている。なかでも、女子学生が抱えている不安を解消するのが、「女子学生限定ガイダンス」だ。

毎年2月に行われ、3、4年次の女子学生と進路支援室の女性スタッフが参加する。3年次生の質問に、内定を得た先輩や職員が丁寧に答える。先輩の模擬面接を見学したり、第一印象を意識した自己紹介を学んだり、実践も行われる。

参加学生は「女子だけでなく、実践も行われる。先輩の模擬面接を見学したり、第一印象を意識した自己紹介を学んだり、実践も行われる。」と話す。



就活総合セミナーで模擬面接に取り組む＝2月21、22日

リクルートファッション講座＝6月6日



また、進路支援室では、時間無制限で個別相談に応じ、模擬面接、エントリーシートや履歴書の添削指導などを行っている。2018年度の相談件数は延べ2820件で、学生の利用満足度は87.9%。多くの学生がスタッフとの面談を通して自信を手にし、内定合格という結果を勝ち取っている。

さらに、就職活動に必要なスキルを磨く「就職活動総合セミナー」、本学の学生の採用に意欲的な企業約150社が参加する「石巻専修大学合同企業説明会」など、さまざまなプログラムを用意されている。

就職活動体験談

理工学部生物科学科
西廣みずほさん
(千葉県市立銚子高)



限界決めずに挑戦

「植物について深く学びたい」と考えていた高校時代。野外実習をはじめとする魅力的なカリキュラムに引かれ、故郷・千葉県を離れ、石巻専修大学の理工学部に入學しました。

次の6月に仙台市の二丁目、深谷周辺と宮城県・山形県に連なる蔵王山南蔵王縦走路で行われた「植物学実習」をきっかけに、「卒業後は環境調査員になりたい」と強く思うようになり、企業の採用担当者へ、就活を始めたばかりの頃は、企業の採用担当者へ、

経営学部経営学科
山田茂和さん
(宮城県仙台城南高)



仕事への熱意重視

硬式野球部に所属。チームメイトと励まし合いながら練習に励み、3年次の秋季リーグ戦でベンチ入り。日々の練習で培った目標に向かって努力する姿勢は、勉強や就職活動でも生かされています。本格的に就活を始めた3年次の12月以降は部

活と就活を両立。周囲に流されないように気持ち強く持つこと、時間を有効活用することを心がけています。

企業選びでは、業種や職種ではなく、自分が熱意を持って取り組める仕事かどうかを重視しています。

人間学部人間文化学科
高橋まなきさん
(宮城県石巻西高)



仲間と励まし合う

石巻市の隣、東松島市出身で、地域を活性化させたいと思い、公務員を志望しています。

試験対策として、2年次から大学で開講されている公務員試験対策講座を受講しました。春・夏

学ぶことができ、実力を向上させることができました。同じ目標を持つ仲間もでき、分らないところを教え合い、時にはお互いに悩みを相談するなど、励まし合っていました。

3年次の夏には市役所でのインターンシップを体験しました。実際に働いてみたことで、今の自分のできることで、できないことがはっきりしました。インターンシップ後は苦手を克服しようとして、それまで以上に勉強に取り組むようになりました。

進路ガイダンスや支援プログラムには欠かさず出席。進路支援室のスタッフの話、先輩方の体験談などを通して、いろいろな情報に触れることができました。現在は選択肢が広がり、興味を持っていたカメラに関する企業(販売、流通、フォトスタジオなど)も視野に入れて活動しています。

2019年度学生数

学部	学科	人数
理工	食環境	61(11)
	生物科	246(60)
	機械工	93(3)
	情報電子工	101(6)
	小計	501(80)
経営	経営	508(55)
人間	人間文化	129(32)
	人間教育	128(56)
	小計	257(88)
合計		1,266(223)

※5月1日現在(カッコ内は女子内数)

課程	研究科	専攻	人数
修士	理工学	物質工学	0(0)
		機械システム工学	1(0)
		生命科学	4(0)
	経営学	経営学	2(1)
		合計	7(1)
博士後期	理工学	生命環境科学	0(0)
		物質機能工学	1(0)
	経営学	経営学	0(0)
		合計	1(0)